

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立友渕小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	都島区
学 校 名	大阪市立友渕小学校
学 校 長 名	中西 泰代

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立友渕小学校では、第6学年 249名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立友渕小学校の結果概要

平均正答率

【国語】大阪市平均を13ポイント、全国平均を11.1ポイント上回った。

【算数】大阪市平均を13ポイント、全国平均を12.6ポイント上回った。

平均無解答率

【国語】大阪市平均を2ポイント、全国平均を2.6ポイント下回った。

【算数】大阪市平均を1.7ポイント、全国平均を2.1ポイント下回った。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

全ての領域において平均正答率が大阪市及び全国平均を上回っていた。知識及び技能にあたる「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」「我が国の言語文化」に関する事項を平素の学習において習得し、これを基盤として「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に活用することで、思考力・判断力・表現力が高まってきた結果である。今年度、「書くこと」領域の正答率が大阪市平均及び全国平均を約17ポイントを上回っていたのは、昨年度アクションプランに掲げていた「一人一人が根拠や理由をもとに考え、書くことを中心に多様な表現方法で伝えたり、比較することで考えを深めたり広げたりすること」を学習の様々な場面で取り入れてきたことが要因として考えられる。

【算数】

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5領域全てにおいて平均正答率が大阪市及び全国平均を上回っていた。基礎的・基本的な知識及び技能の習得に留まらず、複数の解決方法を検討したり、自力解決する時間や機会を確保したりしたこと、ペアやグループで解決方法を比較・検討・整理したりするなど、自律的・協働的に解決する学習を進めてきた結果である。また、解決の過程や様々な解決方法を可視化したり、グラフや図形の変化、面積の求め方などをアニメーション機能を使って検証したりするなど、学びを確かなものにするためにICTを有効に活用しながら学習を進めてきたことも要因として考えられる。

質問調査より

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているか」の設問における肯定的な回答の割合が高かった。これは、どの教科の学習においても問題を自律的・協働的に解決しようとする態度の表れであり、自己での解決に留まらず、他者との対話やつながりを通して、自分の考えを深め、広げることのよさを児童自身が実感していることの表れであると言える。また、「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」の設問における最も肯定的な回答の割合が大阪市及び全国平均を約20%上回っていた。これは、学級担任をはじめとする学年チームが児童の考えを受容し、対話を通して学習を進めてきたこと、心理的安全性が確保された学級づくりを進めてきた結果である。

「学校の授業時間以外に、普段、1日どれくらいの時間、読書をしますか」の設問における回答では、「10分以上、30分より少ない」「10分より少ない」を選択した児童の割合が大阪市平均及び全国平均を上回り、読書離れが見られた。国語科の学習における並行読書の推進や学級文庫の充実、読み聞かせなどの取り組みを充実することにより、読む楽しさを実感したり、様々な分野に興味をもつ動機づけを高めたりすることで、家庭を含め、授業時間以外に本に親しもうとする態度を育成していくことが今後の課題である。

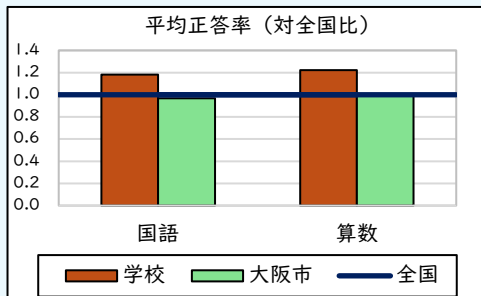
今後の取組（アクションプラン）

知識及び技能の確実な習得とともに、一人一人が根拠や理由をもとに自分の考えを表現すること、伝え合う活動を進めることにより、思考力・判断力・表現力を育成する学習を継続して進めていく。また、学習目標や到達度を明確にした上で、学習方法を計画・選択しながら学べるように自己調整的な学習を取り入れたり、ふり返りをはじめとする自己内評価を毎時間おこなったりすることで主体性と自律性を育成する学習を進めていく。さらに、教科書やノートなどの紙媒体を使った学習と学習者用端末などのICTを活用した学習のハイブリッド化を進めることにより、それぞれのよさやを実感しながら、書くことや読むこと、自力解決することに地道かつ粘り強く取り組む力の育成に今後も取り組んでいく。最後に、体験して学ぶ活動や生活場面に直結するような学習を様々な教科において適切に取り入れることにより、知識と現実がつながり、リアルを感じることでできる学習活動に取り組んでいく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

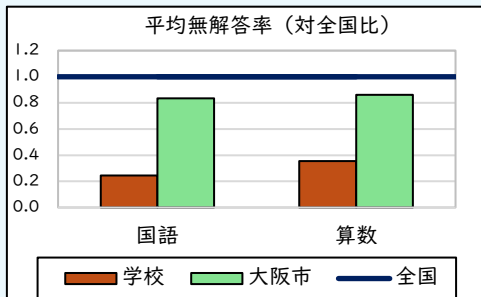
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	72	69
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



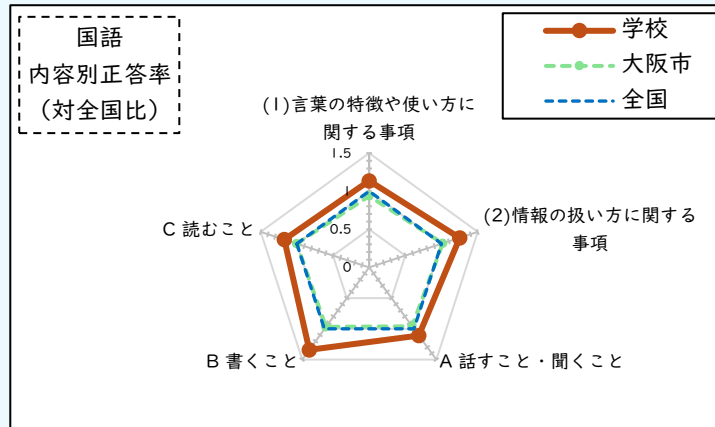
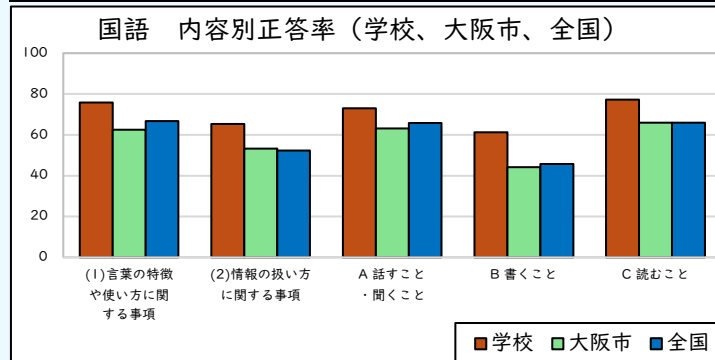
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.8	1.1
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



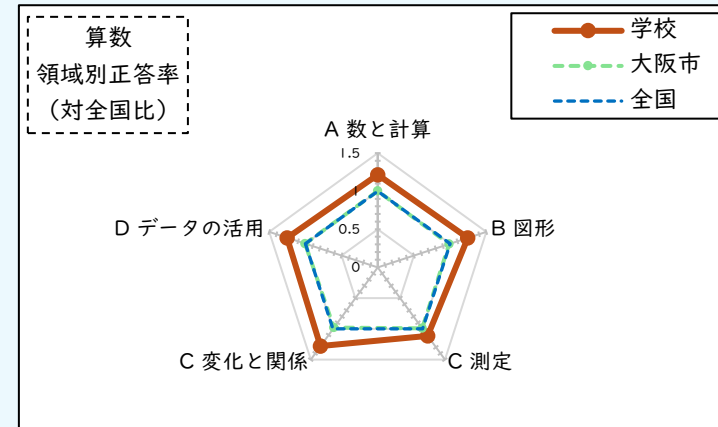
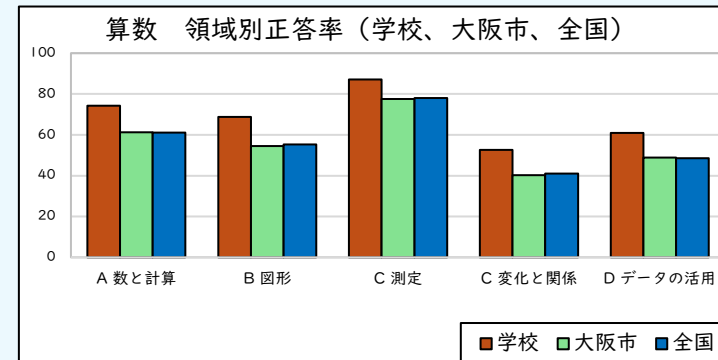
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	75.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	65.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	73.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	61.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	77.3	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	74.3	61.2	61.1
B 図形	4	68.8	54.5	55.3
C 測定	1	87.1	77.5	78.1
C 変化と関係	3	52.6	40.3	41.1
D データの活用	4	60.9	48.8	48.6



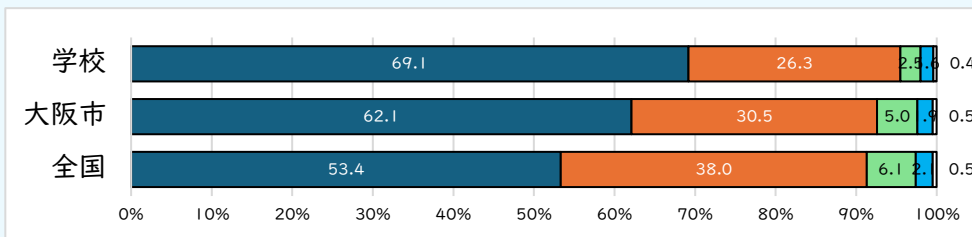
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（1）

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号 質問事項

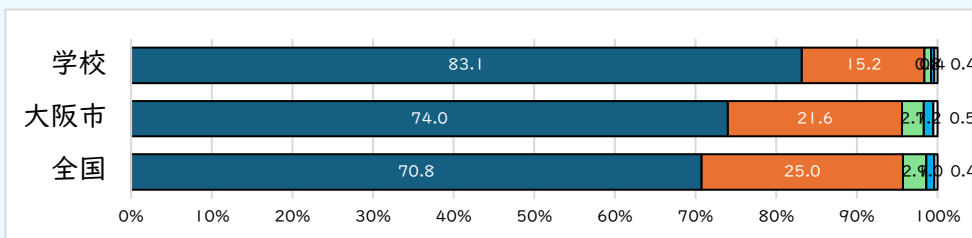
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



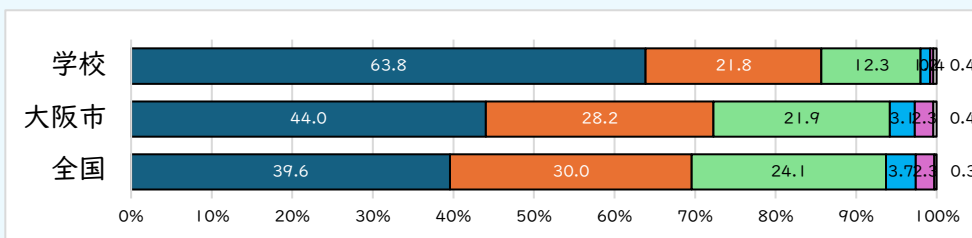
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



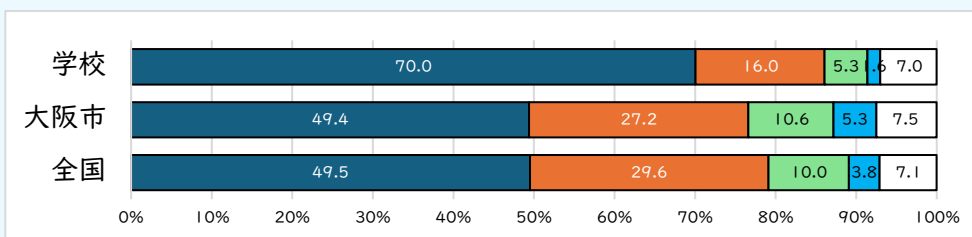
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



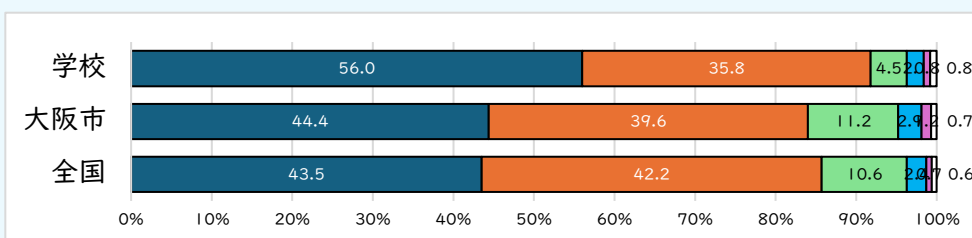
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

(36-1) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

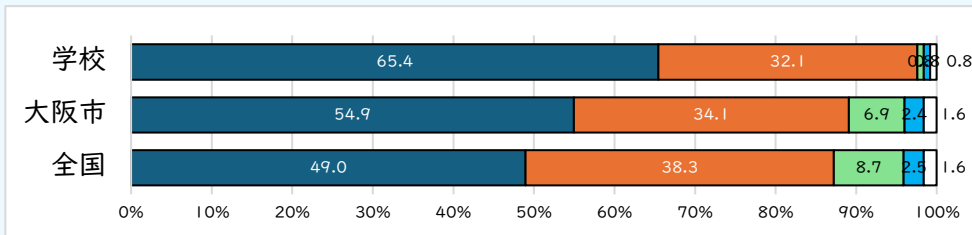
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（2）

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

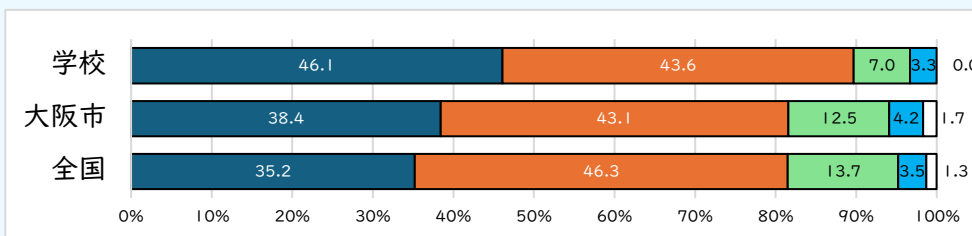
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(45) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



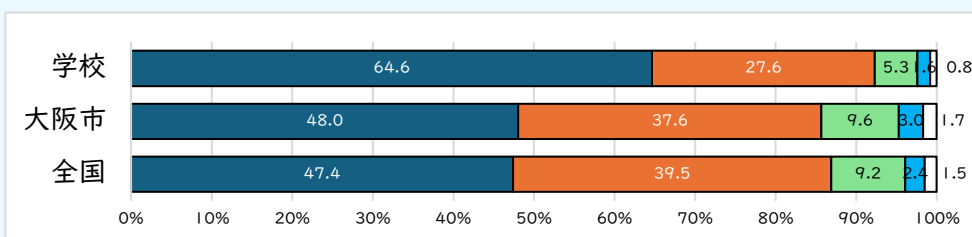
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(49) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



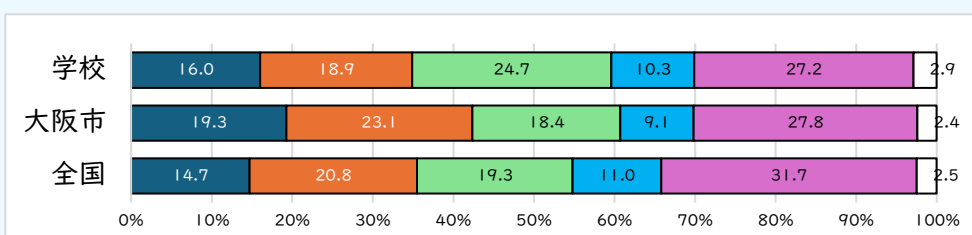
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(51) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



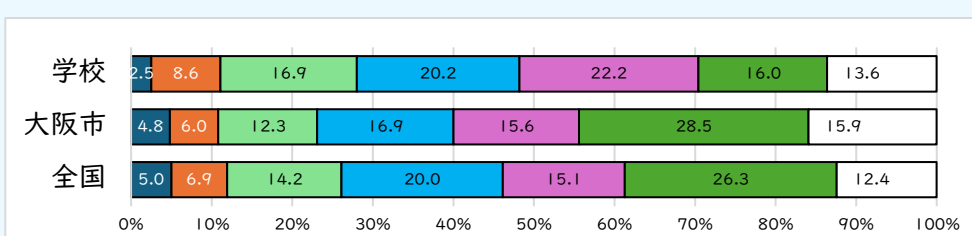
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(7) 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか



- 1 ほぼ毎日
- 2 週に1～2回
- 3 月に1～2回
- 4 年に1～2回
- 5 ほとんど、または、全くない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



- 1 2時間以上
- 2 1時間以上、2時間より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 10分以上、30分より少ない
- 5 10分より少ない
- 6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

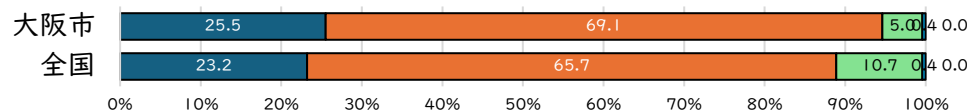
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

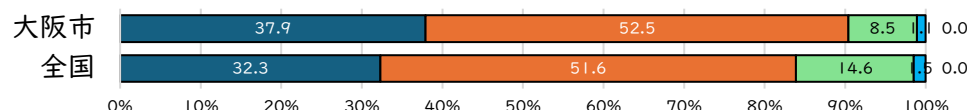


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

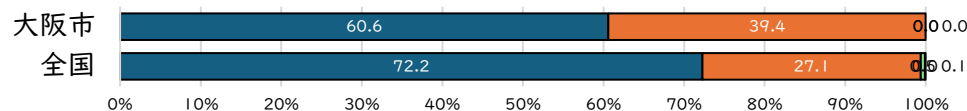


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 1 そう思う

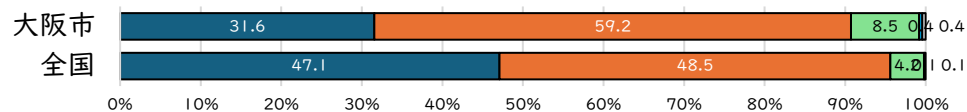


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(40)

調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、児童一人一人がICT機器を活用することにより、探究の過程の質が向上することを意識した指導をしていますか

【学校の回答】 1 よくしている

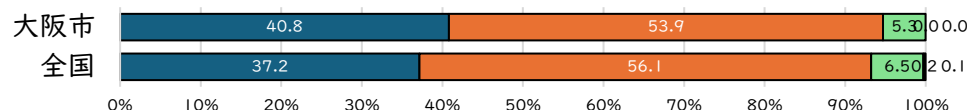


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 1 当てはまる



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない